

令和6年 第1回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和6年1月11日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

教 育 長 榊原 寛二

教育長職務代理者 堤田 綾子

委 員 小藤 省吾

委 員 浅野俊太郎

委 員 鋤柄佐千子

出席職員の氏名

教 育 部 長 近藤 昭子

生涯学習課長 伊藤誠一郎

町民会館事務長 藤井 信介

中央公民館長 内田 大介

町民会館事務長補佐 栗田 宗広

給食センター所長 青木 隆

学校教育指導主事 神谷 俊輔

学校教育課長 森田 光一

スポーツ課長 佐伯 広行

歴史民俗資料館長 山下 恵広

生涯学習課課長補佐 神谷 芳美

スポーツ課課長補佐 石川 恭太

学校教育課課長補佐 藤井 千絵

学校教育指導主事 小田島 健

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第11回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第1回定例会の開会を宣言します。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくをお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

12月 7日(木) ・町定例教育委員会

12月13日(水) ・学校運営研究会

12月14日(木) ・文教厚生委員会 ・第1次地教委面談(知多市勤労文化会館)

12月15日(金) ・定例校長教委管理職会議

12月16日(土) ・家推協もちつき大会

12月20日(水) ・文化財保護委員会

12月26日(火) ・5町教育長会

1月 7日(日) ・消防出初め式【中止】 ・二十歳のつどい

1月10日（水） ・ 知教協

1月11日（木） ・ 定例教育委員会 ・ 知教協保健主事研修会

（教育部長） 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

（教育長） 議案第1号「令和6年度 学校教育の指針・重点施策」について、事務局、お願いします。

議案第1号「令和6年度 学校教育の指針・重点施策」について

（指導主事） 資料1の説明

第6次武豊町総合計画の基本構想を基に、令和6年度も求める子ども像として、「確かな学力、豊かな心、たくましい体」を、求める学校像を「はつらつとした学校生活、あいさつが行き交う学校、安全・安心な学校」として掲げる。また、令和6年度の重点努力目標として、「社会に開かれた学校の実現を目指し、家庭・地域社会との連携を進める」ことを追加し、コミュニティ・スクールの導入に向けてモデル校設置して、学校と地域社会との連携を進める。

（教育長） 今の件でご質問等はございますか。

（教育委員） 重点目標の中に「すべての教職員が『特別支援教育の専門性』を高めることで、子ども一人一人を大切にした教育の充実を行います。」とあります。校内のOJTを推進することも書かれていますが、学校においてはどのような研修が行われているのでしょうか。

（指導主事） 教育委員会としては、教育支援委員会実務者会議を年2回行っており、そこでは、主に各校の特別支援コーディネーターを対象に、研修を実施しています。各校においては、そのコーディネーターを中心に、特別支援学級担任や、その他通常の学級においても特別な支援を要する子どもたちを受け持っている教員が、その対応を考える機会を教育支援委員会という形で設定しています。

（教育委員） 他市町では、異校種体験ということで、先生方が保育園へ訪問することもあると聞きます。お忙しいかと思いますが、そういった事も実施をされるとよいのではないかと考えます。

（指導主事） 異校種体験は、中堅教諭等資質向上研修において、隣接校種の見学・体験を行っています。

(教育委員) 保育園においても、様々な支援を必要とするお子さんが増えていると感じています。是非先生方もそういった現状や、支援が必要な子どもたちへの対応の方法を学んでいただきたいです。また、巡回相談や先生方への指導に当たっていただける方の設置等もお考えいただければと思います。

(教育長) 他に、ご意見ございますか。

それでは、採決に入ります。議案第1号「令和6年度 学校教育の指針・重点施策」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、続きまして、議案第2号「令和6年度 全国学力・学習状況調査の実施」について、事務局、お願いします。

議案第2号「令和6年度 全国学力・学習状況調査の実施」について

(指導主事) 資料2の説明

令和6年度は、小中学校の国語及び算数・数学の学力調査と、質問紙調査を実施する。また、本調査で調べる学力とは、その一部分であり、令和5年度と同様に結果については、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表は行わない。

(教育長) 今の件でご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問は無いようですので、採決に入ります。議案第2号「令和6年度 全国学力・学習状況調査の実施」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

5. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和5年度卒業式 令和6年度入学式の案内について

(指導主事) 資料3の説明

各委員は資料の通りの割振で参加。卒業式は町長・議長の祝辞、入学式は町長のみ祝辞を行う。教育委員会告辞は小・中学校卒業式、中学校入学式、全て紙面配付にて実施。

(2) 令和5年度卒業式 令和6年度入学式 議員出席予定表

(指導主事) 資料4の説明 議長、副議長はローテーション。その他の議員は居住地にて参加割振。

(3) スポーツ功労者表彰式の開催について

(スポーツ課長) 資料5の説明

武豊町スポーツ協会表彰規定に基づき、武豊町のスポーツ振興に寄与し、武豊町スポーツ協会の運営並びに事業遂行に貢献した方々を表彰するもの。
今年度の被表彰者は合計で73名を予定。表彰式は2月18日(日)午前9時30分から、地域交流センター2階多目的ホールで実施予定。

(4) 学校の近況について

(指導主事) 最近の動向について、各校の様子(インフルエンザ等による学級閉鎖)、教育支援委員会経過報告 等

(9) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料6について説明(1月~4月)

6. その他

(1) 町民会館より

- ・各種事業について資料当日配付

(2) スポーツ課より

- ・ゆめたろうスマイルマラソンについて

(3) 生涯学習課より

- ・二十歳のつどいについて
- ・昔のくらし展(歴史民俗資料館)
- ・図書館照明LED化工事終了

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 2024年が、大地震と飛行機事故という大きなニュースで始まり、不安なスタートだと思っています。地震については、武豊町でも震度4の揺れを観測したとのことで、揺れに驚いた人も多かったのではないのでしょうか。私の家族の話ですが、地震の揺れがおさまった後すぐに、建物の外に出るという二次避難を行うことができた人と、大丈夫だろうと勝手に判断し、そのまま家の中に残った人に分かれました。日頃の訓練等、防災意識の差が出たのだと思います。飛行機事故では、客室乗務員の方が日頃の訓練を生かし、わずかな時間の内に乗客を全て避難させ、死者はゼロであったと聞いています。学校でも地震や火災に対する避難訓練を行っていると思いますが、こういった定期的な訓練の大切さというものを、感じた新年のニュースでした。
- ・ 二十歳のつどいに参加させていただき、今年の子たちはとても元気がよいと感じました。出席率も7割以上であったとのことで、このように町の行事に参加してもらえるのは素敵なことだと思います。今後の武豊町を背負っていく若者たちなので、その元気さ、明るさに期待しています。
- ・ 武豊町のある小学校のホームページに、大谷選手からプレゼントされたグローブが届いたという記事が掲載されていました。世界的に頑張っている日本人の方が、こうした日本のすべての希望する小学校へ、平等にメッセージを届けてくれるというのは、子どもたちにとって、大変ありがたいことだと感じました。

(教育委員)

- ・ 先ほどの教育委員のお話を聞いて思い出したのが、地域の防災訓練の際に消防指令の方がお話しされていたことで、「訓練を舐めないでほしい。訓練でできないことは、本番でも絶対にできない。消防も自衛隊も必ず訓練を現場だと思ってやっている。訓練をきちんとやることは大前提である」という言葉です。毎年定例の訓練だと、ともするとルーティーンで、終わらせてしまいがちですが、学校における避難訓練等は、その大切さを今一度見直していただきたいと思っています。
- ・ 冬休みが終わり、3学期がスタートしました。SNS等いろいろな所でいわれていますが、長期休業明けの自殺については、夏休み明けだけでなく正月が終わった冬休み明けにも多いのだそうです。本日紹介があった「あいちこども相談」も、この時期に子どもたちへ向けたお知らせがされているのは、とてもよいことだと思います。後は、決まった時期、時間制限がある中ではなく、24時間、365日こういった相談が受付される仕組みができれば、なおよいと思っています。
- ・ 武豊町は、スクールソーシャルワーカーやスクールアシスタント、特別支援員等の人的配置が各学校に多くなされ、教育環境整備の進んだ町であると感じています。前教育長が言われていましたが、武豊町に最初に赴任した若い先生は、この状況が当たり前で、他の市町に異動して初めて、恵まれていた環境に気づくのだそうです。この点をしっかり宣伝し、武豊はこんなにも恵まれているのだということを、若い先生にも実感していただいた上で、働き方改革等にも取り組んでいただければと思います。

(教育委員)

- ・ 先日の二十歳のつどいに参加させていただき、コロナ禍の中では、国歌斉唱をなくしたり、武豊中学校と富貴中学校を分けて2部制で開催したりと、様々な対応を考えた上での実施をしていたことを思い出しました。日本ではいつからコロナ禍が始まったか、振り返ってみると2020年の1月、今から4年前に日本で初の新型コロナウイルス感染者が出たということでした。それから様々な混乱がありましたが、今年度5月に2類から5類へ感染症の扱いが引き下げられ、それに伴ってコロナ禍前の生活が戻ってきたという流れであると思います。この4年間は、様々なことが新型コロナウイルス感染症によって見直しをされました。今まで慣習に縛られて、ずっと続けてきたこと、もう変えなければならない、変えた方がよいと分かっているにもかかわらず変えられなかったことも、一気に見直しが進んだと感じています。しかし、コロナ禍が終わりを迎え、日常が戻ってきたことで、せっかく見直されたことまでも、元に戻りつつあるのではないのでしょうか。

コロナを機に見直された様々な事業の、見直しの基準は、その事業の目的は何か、その目的を達成するために必要な手段はどんな手段であるか、だと思います。その見直された事業が、古い慣習やその他様々な理由から元に戻ろうとしていることを残念に思います。新しいことを始めたり、今までやってきたことを変えたりすることは、大変なことですが、やってみたらできたということも往々にしてあることです。しかし、何かを始めるためには、何かを終わらせることも必要です。そして、何かを終わらせるためには、勇気や決断が必要かということ、決してそうではなく、やめるという決断をすればよい話だと私は思います。

卒業式について、教育委員会告辞を紙面配付で対応することは、私はとてもよいことだと思います。先生方が卒業式の目的は何かを考え、知恵を絞って、コロナ禍における卒業式の在り方の見直しがされました。卒業式の主役は卒業生であり、その目的にかなう、真に必要なものを厳選する中で、来賓の祝辞や教育委員会の告辞などは、不要なものとしてなくしていくこともあり得るのではないのでしょうか。学校にはこれまでコロナ禍において進めてきた取組を、自信をもって継続して行っていただきたいと思っています。

(教育委員)

- ・ 先日の二十歳のつどいに参加して、私たちの時代とは大きく変わったと感じました。新成人の衣装も華やかで、ビーズ等でキラキラと光る着物があつたり、男性も中性的な装いの方がいたり新鮮でした。また、壇上でお話をされていた両中学校の恩師の先生方皆さんが、お話がとても上手でびっくりしました。
- ・ お正月の地震については、新潟にいたころに中越地震で被災したことを思い出しました。中越地震の際は、長岡にあった附属小学校・中学校で避難所にて、掃除のお手伝いをしていました。水が使えず、トイレが流せないなど苦労があったことを覚えています。また、今回の地震とも共通することとして、電車、新幹線の線路や道路が寸断され、移動手段が限られたものしかなかったことも思い出されます。
- ・ コロナ禍によって、大学ではオンライン授業ばかりで実験もできず苦労しました。また、先輩後輩のつながりが切れてしまったのも困りごとの一つです。今後少しずつ、

そういったつながりも復活するのではないかと期待しています。また、何か私にできることで貢献していきたいと考えています。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日

署名

.....
.....
.....
.....
.....

作成者 神谷俊輔